

# 議会だより 第113号

群馬県昭和村議会

令和6年2月1日 12月定例会



## Contents

- 2~5 中学生議会
- 6~7 12月定例会
- 8~11 全協・各常任委員会
- 12~18 村の姿勢を問う
- 19 村内企業の声

# 第18回 中学生議会

令和5年11月10日に第18回中学生議会が役場議場において開催され、中学生が本番さながらの一般質問や提案を行いました。



3年1組

## 1班 テーマ「リサイクル率向上」

新宮由崇・林健太・綿貫絆人・ランドルカレン

**問** リサイクル率向上や、ごみ削減に関する取り組みなどを推奨する条例等はあるか？

**答** 国の定める法令や条例に基づき、昭和村廃棄物の処理及び清掃に関する条例を制定している。

**提案** リサイクル率を高めるため、リサイクル項目を増やしたらどうか？

**答** 資源ごみのリサイクルを促進するため、「昭和村有価物集団回収奨励事業」を実施し、村内全地区において資源ごみの分別をお願いしている。

## 2班 テーマ「いろんな人が来てくれる昭和村」

堤稀昊・有馬蒼空・金子楓  
花・竹之内嘉恭・栗原憩

**問** 今後昭和村に企業を誘致するならば、どんな企業を誘致したいか？

**答** 現在、村で管理及び誘致している用地はないが、今後は新たな産業用地の確保と村の活性化に繋がる企業誘致について検討したい。

**提案** 村内で食料品・日用品を揃えられるようなお店を誘致する。

**答** 廃業したスーパー跡地に食料品を扱う店舗の誘致を進めている。

**問** 片品川の資源を活かす計画はあるか？

**答** 現在、片品川の資源を活かす計画はないが、自然豊かな景観を大切な資源として保全していく。

**提案** 片品川の近くに釣りセンターの設置をする。

**答** 村内に釣りが楽しめる場所があれば観

光拠点の一つにもなるため、今後の取り組みの参考にしたい。

## 3班 テーマ「福祉サービスをもっと気楽に利用しやすいように」

佐藤由貴・外山大翔・真下大輝・井上奈美

**問** 居宅介護の認知度とケアマネージャー研修の開催について。

**答** 居宅介護の認知度は把握していないが、介護保険制度についてはパンフレットを作成し、全世帯に配布をして周知を図っている。介護職員を確保するため、村内の介護施設と連携を図りながら支援を進めたい。

**提案** 居宅介護をもっと村民に知ってもらうための研修会を開いたらどうか。

**答** スキルアップ研修などをやっている。

**問** がん検診を受けている人は村民の何割で、検診は周知されているか？

**答** がん検診の受診率は県平均を上回っている。広報紙への掲載や健康カレンダーなどを各世帯へ配布して周知をしている。

**4班 テーマ「農業人材の確保」**

織田澤龍法・角田日々翔・織田悠・吉澤琉生・高橋琴音・中川隼汰

**問** 外国人研修生への補助はしているか？

**答** 補助は行っていない。

**提案** 自立するまでの補助金や機械を貸し出すのほどか。

**答** 特定技能制度による受け入れが可能となり、今後の動向を注視し必要に応じて検討する。

**5班 テーマ「観光に強い村作り！」**

井熊歩夢・長谷川祐希・小泉結愛・宮内心花

**問** 観光客を増やすための具体的な政策はあるか？

**答** 「やさしい王国昭和村」を前面に押し出し、SNS等を積極的に活用して観光客増加を目指す。

**提案** 利根川でラフティングを利用できるようにする。

**答** 残念ながら昭和村沿いの利根川はラフティングには向いていないため、時代に合った豊かな自然を活かした取り組みを考えていきたい。

**6班 テーマ「小学校統合と使わなくなる校舎の利用について」**

谷川雄飛・飯塚彩楽・宇田川沙彩・鈴木花音

**問** 学校が統合された時の通学方法と、使わなくなった校舎の利用はどう考えているか？

**答** 建設委員会の通学部会で通学方法は検討。校舎利用についても部会を作り検討していく。できる限り有効活用を考えていく。

**問** 昭和村の学生の学力について、どのような課題があると思うか？

**答** 単発の学びには積極性や強み・良さを発揮できているが、粘り強い学びによる確かな学力定着に課題がある。

**提案** 使わなくなった校舎を利用して図書館と併設した学習スペースを作る。



**答** 貴重な村の財産をどのように活用していくのか慎重に検討する。

**【議長を務めて】**



議長 外山 大翔

私は今回、中学生議会の議長を務めさせていただき、議場でのマナーや議会の進行の仕方、議会の仕組みや議場の緊張感など多くの経験をさせていただきました。その緊張感に、議長という立場の責任を感じました。

今回の中学生議会を終え、執行部の方々がどれほど村のために行動してくださっていたかを知り、関係の方々へ感謝をしなければならぬと感じました。そして、本議会で学んだことを活かし、身の回りの政治に積極的に関わっていき、社会に出てからの生活に役立てていきたいと思っております。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



## 3年2組

**1班 テーマ「シニア世代や子育て世代の方が暮らしやすい安心・安全な村へ」**

金子廉・後藤英太・高橋絆那・吉澤由衣

**問** シニア世代の方や子育て世代の方について考えていることは？

**答** シニア世代へは健康寿命を延ばし日々の生活に生きがいを感じながら過ごしてほしい。また、子育て世代へは子育てにやさしい村づくりを基本理念としているため、誕生祝金や保育料の一部無償化等経済的支援を積極的に行っている。

**提案** シニア世代の方々のスキルが活用できるイベントを実施。

**答** 中学校文化祭で文化交流や、放課後子ども教室の支援をしている。

**提案** 子育て世代の育児と

仕事の両立が可能な施設の設置。

**答** 一時預かり事業・子育て支援センター設置・学童クラブ運営などで、育児と仕事の両立しやすい環境を整えている。

**2班 テーマ「昭和中村を広めるために」**

加藤天翔・菊池琉心・中嶋嶺央・竹吉仁那・鶴淵美月

**問** 今後つつかけまんどうをどのように開催していくか？

**答** 開催方法をお答えすることはできないが、貴重な伝統行事なので末永く続くことを願っている。

**提案** 村民や県内外の人にも知ってもらうため、村全体で開催する。

**答** 昭和中村の伝統行事を引き継いでいけるよう、住民皆さんと一体となつて取り組んでいきたい。

**問** 村内の空き家は壊すか？利用するか？

**答** 家は個人の持ち物・財産なので、勝手に解体等はできない。空き家バンクの登録・解体費用の補助金制度をお知らせしている。

**提案** リフォームして移住してもらうことや古民家カフェにして景観を良くする。

**答** 昭和中村空き家対策計画をもとにきれいな昭和中村を作っていきたい。

**3班 テーマ「昭和中村次世代の子育て支援」**

佐藤大翔・新田旭・松井虹介・須田琉菜

**問** どのような子育て支援を行っているか？

**答** 誕生祝金支給から給食費無料まで切れ間ない支援を行っている。

**提案** 出産後2年間で、乳児消耗品と1万円の支給。

**答** 現在の事業を継続し、対象者のニーズに合った方法を検討する。

**問** 昭和村には子ども向けにどのような施設と活動をしているか。

**答** 保育園・ふれあいゲリーンパークなどあり、各種スポーツ講習会や大会、子ども映画教室などの活動をしている。

**提案** 世代を超えて誰もが楽しめる憩いの場を設ける。

**答** 総合運動公園に子ども向けのアクティビティを増やし、子育て世代が楽しく過ごす場所を整備する。

**4班 テーマ「農業の継続と発展」**

井上咲耶・岡田大洋・林利友希・吉澤結夏菜

**問** 新規就農者に対して取り組んでいることは？

**答** 希望者に対して群馬県の農業事務所等と連携しながら、就農相談を行っている。

**提案** 新規就農者へ農業経営などの研修を充実させる。

**答** 新規就農者が農業技術や経営手法など、必要な研修を行えるようサポート体制を整備していく。

**問** 農業に対してどのような支援をしているか？

**答** 農業を取り巻く環境は厳しいものとなっているため、必要に応じて支援を行っている。

**提案** 農業用機械を買っための補助金を出す。

**答** 補助要件を満たす希望者には、国や県の補助事業を活用している。

**5班 テーマ「不便の無い自由な暮らし作り」**

石井健彰・杉木連音・徳江郁水・石田珠梨・増田弥優

**問** 年間どのくらい道路整備をしているか？

**答** 令和3年度28件、令和4年度21件工事を行っている。その他道路維持管理もしている。

**提案** 整備の行き届かない道路の整備を検討してください。

**答** 村全体を見た中で緊急性・危険性・公平性を考慮し、順次整備を行っていく。

**問** 今後新しい運動施設を作る予定は？

**答** 現在の運動施設の利用状況を見ながら、新学校の付帯施設として建設を検討している。

**提案** 総合運動施設を新校舎近くに建てること。

**答** 新校舎建設の付帯施設については委員会 で検討している。

**6班 テーマ「未来の子どもたちにより良い学習環境を」**

新木琉珂・星野瑛汰・星野航輝・織田澤寧音・綿貫花菜

**問** 小中高生のために、どんな学習の制度や施設、工夫がありますか？

**提案** 中・高校生をメインに集中できる学習施設を作る。勉強スペースを完全個室にする。

**答** 新たに図書室兼自習室の設置予定はないが、昭和村公民館学習室の利用を勧めます。



**【議長を務めて】**

議長 松井 虹介

新しい議場での記念すべき第1回の中学生議会では、役場の方々や議員の方々が集まり、緊張感に包まれていました。本議会を通じて、議場の進行やマナーについて学ぶことができました。また、普段から私たちがこれほど昭和村に支えられて生活しているのかと実感しました。そして、議題を考えるにあたり、課題を見つけて自分たちでよく考えて提案したことを通して、自分の意見を発信していくことが重要だと気づきました。あと数年後には私も選挙権を持ちます。今回の経験を活かし、積極的に政治に参加したいと思えます。未来に繋がる重要な経験をさせていただき、ありがとうございました。

# 12月定例会

今定例会は、12月5日から13日までの9日間の会期で開催されました。13件(承認1件、議案12件)の議案、議員発議1件をいずれも原案のとおり可決。また、7人の議員が一般質問をし、村の姿勢を問いました。

## 人事

### 教育委員の任命同意

須藤俊哉氏の任命に同意



(大河原)

## 条例改正

### 昭和三村公営企業の設置等に関する条例の制定

簡易水道事業、農業集落排水事業及び戸別浄化槽事業が、令和6年4月1日から地方公営企業法の一部を適用し、公営企業会計に移行するため、必要な事項を条例で制定。なお不要となる簡易水道事業・農業集落排水事業特別会計条例は廃止。

### 昭和三村国民健康保険条例の一部を改正する条例

国の法改正に伴い、子ども・子育て支援拡充のため、出産される国保被保険者の保険料の内「所得割額」と「均等割額」を出産予定日の前月から翌々月まで免除する。

### 昭和三村定住に伴う新築住宅建設補助金交付条例の一部を改正する条例

定住促進を図るため、村内に本拠地を有する業者施工の新築住宅補助金を100万円から200万円に、村外業者施工では80万円から150万円に増額。令和6年4月1日から令和11年3月31日まで5年間延長。

### 昭和三村簡易水道設置使用管理条例の一部を改正する条例

南部簡易水道の第2水源を第3水源に変更したことに伴い、水道事業変更認可における計画給水人口及び給水量を改正。

## 補正予算

### 令和5年度一般会計補正予算(第4号)

増額 1億5,382万6千円  
総額 55億9,638万6千円

道の駅遊具設置や旬菜館の増改築工事を見送ることや、昭和三村の森ゴルフ場池の

補修費用、住民税非課税世帯に7万円給付など。

### 令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

総額 2,898万3千円増額

12億6,984万5千円  
令和4年度決算剰余金の繰越や医療費の増額。

### 令和5年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

総額 562万2千円増額

1億9,524万2千円  
消費税の中間納付分や地区の配水管布設替工事の工事延長に伴う増額。

### 令和5年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

総額 208万9千円増額

3億6,722万8千円  
新築住宅等の新規管路工事や農集排水事業償還元金の増額。

### 令和5年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

総額 89957万4千円増額

9億3,939万8千円  
介護給付費準備基金への積立金や地域支援事業交付金、村負担分の精算に伴う増額。

### 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

総額 146万5千円増額

1億418万9千円  
後期高齢者連合納付金の保険料負担金増に伴う増額。

## 承認

### 和解及び損害賠償額の決定

糸井地内の村道で、側溝上にあった鉄板が跳ね上がり営業車輛を破損させた事故の和解成立のための損害賠償額を決定。

## 締結

### 役場新庁舎建設工事(第二期工事)請負変更契約の締結

旧庁舎解体、多段式駐車

発議

場整備、西庁舎改修等の追加工事変更前契約2億1,728万3千円に653万4千円を追加し、2億2,381万7千円に増額変更。

国民のいのちと健康を守るため、ケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書

総務民生常任委員会では本議案についての請願書(受理番号16号)を審議した結果、全会一致で採択されたため、議員から議長宛に議案が提出された。

ケア労働者の処遇改善の実施をお願いすべく内閣総理大臣等へ意見書を提出。  
 ①医療現場や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと人員配置につなげるよう、診療報酬と介護報酬を抜本的に引き上げるよう臨時改定をお願い。  
 ②すべての医療機関や介護施設に行き渡る物価高騰支援策の拡充をお願い。

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。

		佐藤好美	林栄一	倉沢つかさ	沢浦典子	林勝美	阿部孝司	林祐司	藤井貞充	林幸司	加藤生	永井一行	片柳悦夫
第5回定例会(令和5年12月5日~13日)													
承認第8号	専決処分事項の承認を求めることについて和解及び損害賠償額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	昭和村公営企業の設置等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	昭和村定住に伴う新築住宅建設補助金交付条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	昭和村簡易水道設置使用管理条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和5年度昭和村一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	令和5年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	令和5年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	令和5年度昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和5年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和5年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	昭和村教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	昭和村役場新庁舎建設工事(第二期工事)請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

みなさんからの請願・陳情

自 令和5年9月13日 至 令和5年11月20日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
13	R5.9.13	最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める陳情書	群馬県前橋市本町3-9-10 群馬県労働組合議 議長 石田 清人		総務民生	趣旨採択
14	R5.10.31	住民センター等に関わる固定資産税の軽減に関する請願書	糸井財産区区長 野田 敏夫 中宿区長 林 孝志 糸井財産区副区長 高橋 昌幸 吹張区長 竹吉 健一 宿区長 斉藤 正樹 中内出区長 飯塚 哲也 常木区長 石井 誠 滝寺区長 高塩 勝利 南内出区長 上内出区長	加藤 生 佐藤好美	総務民生	採択
15	R5.11.14	請願書(宿区内にある防火水槽の修繕のお願い)	宿区長 高橋 昌幸 第7分団長 金子 俊弘	加藤 生 佐藤好美	総務民生	採択
16	R5.11.16	国民のいのちと健康を守るため、医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める請願書	前橋市本町3-9-10 群馬県労働センター3階 群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦匠人	林 幸司	総務民生	採択
17	R5.11.17	追分地区内「その他村道4214(上平16号)線」の排水路の改修並びに溝蓋設置等を求める請願書	追分区長 加藤 寿夫	加藤 生	文教産建	採択
18	R5.11.20	請願書(村道「軍原5号線」の舗装化についてのお願い)	川額区長 竹内 博道	沢浦典子	文教産建	趣旨採択
19	R5.11.15	昭和村統合小中学校建設委員会における建設予定地決定の見直しに対する要望書	昭和村立南小学校・子育て保育園 保護者有志代表		全員協議会	継続審査

# 全員協議会

10月・11月・12月に開催した全員協議会での協議内容  
 容は以下のとおりです。

10月5日

## 統合小中学校建設関係

統合小中学校建設委員会において、建設候補予定地が「総合運動公園隣接地」に決定したと村長より報告を受け協議する。

10月26日

## ふるさと納税制度の改正

制度の厳格化に伴い、経費の合計が寄附金額の5割以下とするため、寄附金額の見直しを行う等の説明を受け協議する。

## 新庁舎建設工事(第二期工事)

多段式駐車場について現地調査を行い、説明を受ける。

## スーパーこいけ昭和店の跡地

スーパーの誘致に伴う建物・内装の改修について、

11月10日

## 統合小中学校建設関係

10月30日に行われた建設委員会の会議内容について説明を受け協議する。

11月24日

## 広域ごみ処理施設の適地選定

利根沼田広域市町村圏振興整備組合では利根沼田地域のごみ処理広域化に向けて具体的な施設建設地を選定すると説明を受ける。

## 昭和村消防団ポンプ車の売却

小型ポンプ車1台とポンプ車1台をインターネットオークションでの売却について説明を受ける。

## 路線バスの運賃

関越交通株式会社では、10月1日よりバスの運賃を値上げすると説明を受ける。

## 婚活支援事業

(株)リクルートが運営する結婚相談所「ゼクシィ縁結びエージェント」と業務連

携をすることについて説明を受ける。村が最大3ヶ月の月会費を補助し、ゼクシィ縁結びエージェントが入会金を補助する。



## スーパーこいけ昭和店の跡地

スーパー誘致の進捗状況について説明を受け協議する。

12月11日

## 昭和小中学校建設委員会における建設予定地決

定の見直しに対する要望書

当該要望書について全協に付託され審査した結果「継続審査」に決定した。

## 昭和小中学校建設委員会における建設予定地決

定増やコロナ禍克服への対応支援策についての要望を受け協議する。

## 委員会の構成を変更

林祐司氏の議員辞職(令和5年12月21日許可)に伴い、委員会の構成は次のとおりです。

### 《議会運営委員会》

- 委員長 加藤 生
- 副委員長 藤井 貞充
- 委員 阿部 孝司
- 委員 林 勝美
- 委員 倉沢つかさ
- 副議長(委員外議員) 永井 一行

### 《総務民生常任委員会》

- 委員長 阿部 孝司
- 副委員長 沢浦 典子
- 委員 加藤 生
- 委員 藤井 貞充
- 委員 林 幸司
- 委員 佐藤 好美

### 《文教産建常任委員会》

- 委員長 林 勝美
- 副委員長 倉沢つかさ
- 委員 永井 一行
- 委員 林 栄一
- 委員 片柳 悦夫



# 視 察・調 査・トピックス

## 町村議会議員研修会

11月2日、吉岡文化センターで開催されました。

### 講演内容

① 町村議会議員の目指すべき多様性とは

「議会ハラスメントの現状と対策」

② 地域の活性化とテレビ

議会ハラスメントについてや、メディアの

歴史・報道の役割について学習しました。



## 第56回村民バレーボール大会に参加

11月3日村民バレーボール大会に参加。ソフトバレーボール部門で3位。

## 盗難防止パトロール

11月20日、27日の2回、2班に分かれて農産物や農業機械の盗難被害を防止するため、夜間にパトロールを実施しました。



## 町村議会広報研修会

11月21日、群馬県市町村会館で開催され広報委員会が参加しました。

### 講演内容

議会の見える化&住民との信頼関係

「議会広報の基本と編集」

誰のため、何のための議会広報かを考えて作る大切さを学習しました。



## 議員出前懇談会

11月上旬から中旬にかけ計6回行い、15人が参加されました。詳しくは次号で掲載します。

# 総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

## 請願等を審査 3件採択、1件趣旨採択

12月7日に総務民生常任委員会を開催し、請願箇所について現地調査を行い、審査しました。

### 審査

**最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める陳情書を趣旨採択**

円安等の影響により、国民の生活を圧迫している現状は、非正規雇用等弱い立場の労働者にとって深刻な問題。最低賃金の引き上げや中小企業への支援策等の趣旨は理解できるものの、最低賃金法を全国一律改正は、地域経済状況等、課題があるため賛成多数で趣旨採択とすべきものとした。

**住民センター等に関する固定資産税の軽減に関する請願書を採択**

住民センターが村有地に建っていたり、地縁団体に登録している場合は、非課税・減免になっているのに対し、民有地に建っている地域は、固定資産税や使用料などの負担が大きい。各

行政区の施設は避難所、または公共的に使用していること等から公平・公正のためは正が必要であり、減免・補助制度等の負担軽減を図ることに全会一致で採択すべきものとした。

**宿地区内にある防火水槽の修繕に係る請願書を採択**

当該防火水槽は、住宅密集地に設置。防火水槽の地権者から隣接する作業場からの出入りの不便や、宅地内に倉庫等を計画するに当たり、不都合が生じていると説明を受ける。

また、近隣にある村有地に新設も検討できるとの説明を受け、全会一致で採択すべきものとした。



国民のいのちと健康を守るため、医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げ人員増を求める請願書を採択

深刻な人手不足による医療・介護現場の人材確保、離職の防止施策への物価高騰支援策等は、安心・安全で質の高い医療の推進やサービスの提供に重要なことから、慎重に審議した結果、全会一致で採択すべきものとし、意見書を提出することとした。

### 視察研修

**川場村役場新庁舎等視察**

川場村では、100年先を見据えた自主・自立の村づくりを進めており、老朽化した村施設の更新とともに、災害・有事への備えを行うこと等を理念とし、行政と経済の拠点施設を整備。川場の中心となることから「川場ベース」と名付けられた。視察研修では、外山村長が施設を案内、木材資源の活用等の説明を受けた。



役場内「交流ホール」

# 文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

## 請願2件を審査 採択と趣旨採択に

12月8日に文教産建常任委員会を開催し、請願2箇所について現地調査を行い、審査しました。

### 審査

追分地区内「その他村道4214(上16号)二線の排水路の改修並びに溝蓋設置等を求める請願書」を採択

追分区長から追分地区、赤谷地区との連絡道路中間地点の側溝が落葉などで詰まってしまふこと。また、落葉や積雪等で隠れて危険という説明を受けた。これらを踏まえ、慎重に審議した結果、全会一致で採択すべきものとした。

川額地区「村道軍原5号線」の舗装化についてのお願(請願書)を趣旨採択

川額区長から南小学校西側に隣接する地区は新築住宅が増えているが、軍原5号線は未舗装である。道路沿いには既存住宅のほか新築の予定もあり、舗装化することで生活環境が良好に保たれ、将来の地区住民の増加も期待されるとの説明を受けた。これらを踏まえ、慎重に審議した結果、全会一致で趣旨採択すべきものとした。



追分地区内

### 視察研修

県道昭和インター線(森下工区)バイパス整備工事と発掘現場を視察

令和7年度完成を目指し、平成25年度着工。全体事業費は約10億円。昭和インターチェンジまでの円滑な通行が確保される。

バイパス内に森下宮原遺跡があり、ここから竪穴式住居が122件出土。このほか約1万5千年前の槍先石器も発見されている。



沼田市外二箇村清掃施設組合を視察

平成14年4月から稼働し、約20年の耐用年数を超え、新たに新設計画がある清掃工場。一日約60トンの燃えるゴミが搬入され、公害防止対策処理をしている工場施設内を視察。

### 所管事務調査

所管する各課に対して質疑応答をしました。主な内容は次のとおりです。

#### 〔産業課〕

**問** 県が有機農産物販売マップを公開。来年度以降のサポートをどう考えているのか。

**答** 興味がある方の育成や勉強会、農業委員会との意見交換会など

おし、有機農業推進に取り組んでいきたい。

**問** 持続可能な経営、みどりの食料システム戦略等、これからの農業は原料生産だけでなく、先々の戦略をねり考えてほしい。

また、TPPがあと5年で執行されるので、しっかり対応してほしい。

**答** 状況確認をして、対応する。



沢浦 典子 議員

多くの人に来村してもらうためには

村長 希望に添える村づくりをしていく

問

昭和三和の観光といえど道の駅めぐり、昭和三和の森ゴルフ場、ほか各果樹園等があります。特に道の駅は人気が高く、新鮮野菜を求めて多くの人でいっぱいですが、カートを使って買い物するにも通路が狭く、会計をするにも長い列。なかには購入を諦めたり、ため息をつきたくなるお客様もいるのではないのでしょうか。買い物をしやすいように手段を考えてもらいたい。

答 村長

旬菜館では会計を待つお客様の列と買い物をさ



また、ゴルフ場も4か所ある池の改修をする計画があると聞いていますが、施設の中で改善してもらいたいところはたくさんあります。その他、道路整備や荒地の対策など、きれいな村をつくり、村外の人を迎えたいと思います。どうでしょうか。

れるお客様とで混雑してしまい、ご不便をおかけしています。通路を少しでも広く確保するため工夫をしたり、搬入者と利用者ができるだけかち合わないようお願いします。

また、ゴルフ場も改修等が必要な場所が多々ありますが、緊急性を考慮しながら順次対応していきます。そして、道路整備等も含め、訪れやすい村にできる限りしていきたいと思えます。

多面的機能支払い交付金事業の役割 村の役割

村長 現場を確認し相談していく

問

多面的機能支払い交付金事業として花植えやごみ拾いなどの景観活動、側溝の泥上げや道路補修、伐採作業の共同作業をしています。年に1回機能診断を行い、問題のある場所を村に頼むか多面で行うかを決めますが、多面では大きな仕事はできません。しかし、数年でまた同じ作業をすることがあり、無駄に交付金を使っているような気がします。側溝の伏せ替えや短い距離の道路舗装は村に頼まなければいけません。時間がかかるのであれば多面で仕事をするのは可能でしょうか。

答 村長

路面の補修や水路の泥上げなど、地域資源の保全や質的向上を図るため



の活動に対して支援するのが、多面的機能支払い交付金事業であるので適切な維持管理をお願いします。

なお、施設等の構造的な部分等が原因であれば村として対応を考えていきます。活動の範囲で迷うことがあれば建設課にご相談ください。



林 栄一 議員

## 統合小中学校の建設について

### 村長 建設予定地は再度検討

**問** 学校説明会の様子や議員出前懇談会の村民意見、建設予定地見直しに対する要望書をどのように受け止めているのか。

**答** 村長

建設委員会で十分な討論を持たずに決定してしまったことについては反省し、地域説明会の冒頭でお詫びしているところ。

地域の方や保護者たち多くの貴重なご意見をいただき、意見書や要望書で改めて統合小中学校への熱い思いを感じた。建設委員会で十分に話し合いを尽くし、具体化していきたい。

**答** 教育長

視点が異なる意見を交わし合うことで考え直し、評価感も変容してくる場面も出てくるかと思う。多面的・多角的に視点や考えを交わし合うことで、意見が醸成されていく方向になって欲しい。

いく方向になって欲しい。

**問**

「小学校3校と新しい場所に中学校と一緒にし、郷土愛を育み小中一貫校を作る」理想を求めていくことの、現実との乖離をどう埋めていくのか。村民の分断を生む統合であってはならないと思うが。

**答** 教育長

まずは物理的な課題を解決しながら、様々な条件や課題に納得し合える内容まで熟成させて、近づけていけたらと思う。子ども達の事を第一に考えている点は一致をしていると思う。

**問**

子育て世代にアンケート実施と大河原小の複式解消の手法について？

**答** 教育長

建設委員会において、何を聞くべきかの設問、

対象者の範囲、集計結果の分析・活用・公表の仕方等、よく話し合いながら進めていくべきと考え。県教委の複式解消特配等の配置で、負担を軽減。制度を活用し、リスク解消に努めていきたい。

**問**

諮問機関である建設委員会の委員長が村長であることの考え方、並びに建設委員に学識経験者を委嘱すべきではないか。建設委員会が付属機関であるなら条例制定が必要ではないか。

**答** 村長

統合小中学校の建設は重要な施策であることから、直接皆さんの意見を聞きながら進めることが大事と考え、委員会組織責任者として入った。学識経験者は推薦できる方がいれば紹介をしてほしい。改めて付属機関とする必要性を確認した上で、またお諮りをしたい。

### 大河原小管内の不公平感を無くすために

#### 村長 課題解消に努めたい

**問**

村内のどこに居住していても、子どもを安心して送り出せる環境整備が必要ではないか。大河原小管内の児童・生徒たちをスクールバス等で送迎することはできないか。

**答** 村長・教育長

住んでいる場所により大なり小なり課題はあると認識。課題解消に努めていく。スクールバスやワゴン車など含めながら、環境整備を考えていきたい。

急ぎ過ぎず慎重に進めてほしい。

## 統合小中学校建設予定地は 白紙撤回して再検討を

**村長** 運動公園ゴリ押しや強引に進めるつもりはありません

林 幸司 議員



**問**

村民に秘密裏のままの候補地決定に、村政への信頼が失墜してしまつた。

村長は、どこの候補地に一票を投じたのか。白紙撤回して再検討を。

**答** 村長

公表は差し控えたい。一度決定はしているが、村民の意見を聞き再考する方向。運動公園へ強引に推し進めるつもりはありません。

**問**

なぜ議論もしないで決定を急いだのか。最適地は「鎌沢田んぼ」と提案し、決定されるだろうとタカをくくっていたのではないか。

**答** 村長

意見集約が不十分だったことは反省しお詫びしたい。委員会で意見が出なかつたが、場所の決定をした中で先へ進めたいと考えた。

**問**

自分がどこに一票を投じたか言わない。また、再検討はするが白紙撤回はしないとはおかしくないか。

**答** 村長

議会に決定権があり、理解してもらえよう調整、意見集約を進め最終決断はする。

今の段階で明確に申し上げないのは、いろいろな背景・事情があることをご理解いただきたい。白紙撤回するか否かは、考えさせていただきたい。

**問**

全員スクールバスという意見もあるが、徒歩通学できる児童生徒数が多い場所が最適地ではないのか。

**答** 村長

それも確かにあろうかと思うが、通学距離は文科省基準にこだわらず地域の実情に合った方法を考えていく。

**健康保険証の存続を**

**村長** 存続が望ましい

**問**

廃止されれば、国民皆保険の崩壊、弱者切り捨て、保険証難民など混乱は避けられない。存続へ尽力を求めます。

**答** 村長

マイナンバーカードの利用は3%程。問題や不安が解消されない場合は存続が望ましい。



## 森下バイパス工事は

**村長** 安全対策は県が責任をもって対応

**問**

年内に本格的な掘削工事が発注される予定であるが、貴重な宮原遺跡の撤去前に村民説明会を実施していただきたい。残土4万m<sup>3</sup>ダンプ5千台の処理と安全対策、災害対応用の残土ストックなどへの活用計画は。

**答** 村長

貴重な遺跡だが記録保存で、説明会の予定はないとのこと。  
残土は千年の森北側村有地に搬入しており、安全対策等、県で責任を持って対応していただく。利活用については検討してまいります。



加藤 生 議員

## 消防団員に対する運転免許証補助を

村長 補助金額の拡充等検討していきたい

### 問

運転免許証はマニュアル車とオートマチック車に分かれています。その他に普通車免許証も細分化されて、年齢や運転できる車の制限があります。

これらの限定を解除して、団員誰でもが緊急出動ができるのが、本来の姿だと思います。

限定解除や準中型免許証取得に向けての費用を、今後どの様に村が負担、または補助をするのか。将来の消防団のあるべき姿をお聞かせください。

### 答 村長

道路交通法の改正により、普通自動車運転免許証で運転できる車両は総重量が3・5トンまでのため、消防自動車の運転ができなくなり、準中型自動車免許証の取得が必要となります。オートマからマニュアル車への限定解除や免許証取得に向けて、村でも令和元年度から補助を行っています。

が、まだ利用された方はいません。

今後、制度の利用を促すとともに、近隣市町村の状況を確認しながら、補助金額の拡充等を検討してまいります。

### 問

申請が一件もないということでは、その制度を利用するための条件が厳しく、利用しづらいということではないでしょうか。もう少し条件を緩和するべきでは。

### 答 村長

消防委員会等々にお諮りをしながら、例えば消防団に入るために限定解除を行うような方には10割補助も考えなければいけないというふうに考えています。

ただ、不公平感がないよう補助事業に対する制限の緩和と補助金の額を精査し検討していきたい。



第6・第7分団 20年ぶりに更新される



佐藤 好美 議員

## 役場内キッズスペース・村民憩いの場整備を

村長 保健センターにキッズスペース設置、役場に憩いの場を工夫

**問** 役場内に各種手続き・相談時等、安心して来庁できる子育て環境整備の施策として、キッズスペースを設けてください。併せて緊急時は災害対策の場、平時は村民に親しまれ、集えるような庁舎としての活用を求めます。



**答** 村長

保健センターに令和6年度妊産婦、子育て世帯、子どもの包括的な支援のため家庭センターを設置。そこにキッズスペース等整備を検討する。また、庁舎内に村民の憩いの場についても、スペースの問題があるが検討していきたい。

### 病児保育の導入

**問** 子どもが体調不良の際、保護者が仕事を休まず、病児を受け入れてくれる民間施設が利用できるよう、利根沼田広域的な観点も含めて積極的に進めてください。

**答** 村長

子育て施策は重要である。近隣の市町村の状況を確認し、利根沼田の連携も含めた取り組みができるよう努める。

### こんにやく芋製粉等の企業誘致

**問** 国や県から補助金を受け、全国に生産量日本一を誇る昭和村産のこんにやく芋を発信するため、製粉所の誘致、生玉製品加工販売を提案。全国の関係事業者から直接注文を受ける仕組み構想を提案します。就農に意欲を持つ若者や、関係者と連携し新たな道を展開してください。

**答** 村長

こんにやく芋の需要量は減少傾向にある状況下で、製粉企業の誘致は難しい。農産業に特化した施設誘致を、国・県の施策や動向を注視する中で計画があれば積極的に協力し、製品化には支援をを考えていく。今後生産や農業の継続の要望活動を行いたい。

### 屋内運動場人工芝張り替えを

#### 教育長 計画的に改修を検討

**問**

多目的屋内運動場はゲートボールやテニス、消防活動、集いの場と様々な活用されているが、人工芝が劣化し、チップ化して、衣服や髪に付着し、健康被害が危惧されます。人工芝の早急な張り替えを求めます。

**答** 教育長

今年度専用掃除機を購入し、細かいチップを除去するため全面清掃を実施。他の社会教育施設の整備と合わせて、計画的に考えている。健康被害を生み出さないような施設とします。







倉沢つかさ

議員

## 中学生専用のスクールバスを運行できないか？

村長 通学方法に不公平感のないよう検討する

**問**

デマンドバスが運行され中学生の通学にも便利になる反面、希望の時間に予約が取れない事案もある。

今後どこに学校が建設されても、スクールバス運行は必要と思うが、早い段階でのスクールバス導入を検討しているか？

**答** 村長

保護者等の要望を聞き現在の仕組みで解決できない場合は、検討しなければならぬ。不公平感が生じないようにスクールバス以外の通学方法も含めて検討していく。

**答** 教育長

バスの運行事業者への問題、乗車対象者の範囲の問題、バスのルートや費用等、公平性や利便性など、問題解決できるような研究を続けていきたい。

**問**

通学に利用するための電動アシスト

自転車購入の補助金支給は考えているか。

**答** 村長

電動アシスト自転車で通学している生徒はいるが、購入補助についてはいろいろな方法で通学している生徒もいるので、教育委員会や学校と話し合いながら検討していく。利用者が多くなり、希望が多くなるようであ

## 高齢者の支援やサービスについて

村長 実態やニーズを捉えた実践的な計画に

**問**

高齢者の支援やサービスがどのように行われ、成果と課題は何か。課題にはどのような対策がなされているのか伺いたい。

**答** 村長

一人暮らしの高齢者の栄養管理などを目的とする配食サービス、緊急通報装置システムの設置、

れば補助も考えていきたい。

**答** 教育長

遠距離通学者に対する補助規定はあるが、自転車の種類についての規定はない。今年度からバス通学者への負担軽減に合わせ、自転車用の後付けライト補助金を設けている。

**問**

高齢者支援の計画の中に、ゴミ出し困難な世帯に対して、

**答** 村長

他の行政の取り組みを参考に考えているが、やってくれる人が見つからないため、計画の項目に入れられない状況。

個々に頻度(週に一回など)を決めての回収などは盛り込むか。



## 村の姿勢を問う

### 道路愛護運動の課題や見直しについて

林 勝美 議員



村長 参加人数の減少や高齢化について検討していく

**問** 道路愛護運動において、各地区がどのように活動を行っているのか伺います。

**答** 村長

地区ごとに異なるが、幹線道路を中心に路肩の清掃、側溝の土砂上げ、道路にせり出してゐる木の伐採等を行っていただいています。

**問** 現在直面している問題点や課題、その対策はありますか？

**答** 村長

参加者の高齢化により作業が困難になってきている状況もあり、無理のない範囲で作業していただき、あとは村で対応をしています。

**問** 村としての評価や見直しの必要性はありますか？

**答** 村長

道路環境における美化保全に対して、成果を上げられているので感謝をしています。今後も、各地区の実情に合った活動をお願いします。

**問** 将来的な課題や改善策について村の見解や計画はありますか？

**答** 村長

参加者の高齢化や減少で、将来的に活動が難しくなってくるのが予想されます。計画は特にありませんが、地域の要望や関係各位の意見を伺いながら、考えてまいります。

**問** 村内のいたる所に建築廃材や大型家電等の廃棄物やごみが不法投棄されています。景観や環境保全の観点から、村として撤去するような考えはありますか？

**答** 村長

投棄した人が分からない場合は、村として対応を考えなければなりません。

**問** 村道大坂中野線の一部が急カーブになっていて、大型機械やトラックのすれ違いが困難な状況のため、側溝をコンクリートで埋めて道路幅を広くしました。埋めた箇所から下は道路傾斜が逆で山林に流れ込んで深くえぐれた状態です。近い将来崩落事故が起こるのではないかと地域住民は心配しています。その対策は考えていますか？

**答** 建設課長

現地をよく精査し、検討していきます。

**問** 村道泉坂線では山林の中を大型側溝が二本設置され横断しています。落ち葉や土砂が

常に堆積し、大雨時にはその土砂が道路にはみ出し交通の妨げになることもあります。以前は道路愛護の時に、人力で大量の土砂や枯葉等を除去していました。土砂や枯葉等を少しずつ下流に流せるように構造物の改良も考えられると思います。地域の方々は心配しています。宜しくお願います。

**答** 建設課長

現地をよく精査し、検討していきます。





## 株式会社ワーナテック

### 【会社沿革】

株式会社ワーナテックは、その前身である渡辺鉄工所が昭和12年に群馬県前橋市古市町にて操業を開始したことに端を発します。

昭和35年に法人化を果たし、株式会社渡辺鉄工所として新たなスタートを切りました。昭和42年には現在の拠点である前橋市大渡町へと本社を移転。

平成に入り、昭和村糸井に新工場敷地10000㎡を取得。ここから弊社と昭和村の関わりが始まりました。

平成5年に昭和第一工場を竣工し、同時に社名を現在の



株式会社ワーナテックへ変更しました。

これを契機に、昭和村においては工場用地の拡充と積極的な設備投資を継続し、現在、昭和村工場は第三工場まで事業規模を広げ、日々稼働を続けています。

### 【事業紹介】

株式会社ワーナテックは、歯車加工を主軸として事業を展開しており、自動車、建設機械、農業機械部品などの産業界で使用される部品の製造を行っています。

弊社の生産ラインは多岐にわたり、最新の産業用ロボットの駆使した自動化による大量生産から、特殊なギヤやシャフトなどの多品種少量生産まで、幅広いニーズに対応可能な構成になっています。この柔軟性を武器に、メーカーからの注文に迅速に 대응すると同時に、さまざまな市場の要求にも適応し続けています。

弊社の特徴としては、素材の選定から始まり、旋盤やマシニングセンタを用いたCNC加工、ホブ盤とギヤシェーパーによる歯切り工程、研削盤による精密研磨に至るまで、



製造過程全体にわたる一貫した品質管理を徹底しています。2002年には国際規格ISO9001認証を取得しました。

この認証は、弊社の製品が国際的に認められた厳しい品質基準を満たしている事を保証するもので、信頼性の高い部品供給を実現していることを意味しています。

### 【環境への取り組み】

産業界全体における環境意識の高まりを反映し、弊社も持続可能な製造プロセスへの転換に力を入れています。

この一環として、2007年にISO14001の基本コンセプトに沿った環境マネジメントシステムである京都環境マネジメントシステムスタンダード(KES)認証を取得しました。

このシステムは、環境への負荷を効果的に管理・軽減し、環境経営の推進に役立つシ



プルかつ低コストな仕組みです。

具体的な環境改善への取り組みの例として、切削油を使用しないドライカットへの転換を推進しています。

このドライカット加工は、従来の断続的に切削油を流し続けるウェット加工と比較して約20%の省エネ効果をもたらす、エネルギーの節約と同時に廃油の大幅な削減に寄与しています。

また、未だ切削油が必要になる工程においても、強アルカリイオン水を併用することでバクテリアの発生を抑制し、より清潔な作業環境を維持する事に成功しています。

これらの取り組みは、環境負荷の低減と製品品質の向上を両立させ、持続可能な事業運営を実現するための重要なステップと私たちは考えています。



### 【昭和村と歩む未来】

「日本で最も美しい村」と称される昭和村。弊社もこの豊かな土地環境において、30年に渡り成長を続けてきました。

特に昭和工場では主にクボタ、コマツ、いすゞの部品製造を主に手掛けており、これらの一部が昭和村において日常的に使われる農業用機械やトラックに使用されているという事実は、私たちにとても大きな誇りとなっています。

これらの製品が、昭和村の産業の効率化と発展に貢献し、ひいては日本の農業を支える一助となっていれば幸いです。

株式会社ワーナテックは技術革新を追求し、地域社会と環境への継続的な貢献を心がけることで、昭和村と共に歩む、持続可能な未来を見据えた企業として、これからも前進してまいります

# 新年のご挨拶

議長 片柳 悦夫

新年明けましておめでとうございます。村民皆さまにおかれましては希望に満ちた新春を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。平素から議会に対し、ご理解とご協力をたまわり感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、旧庁舎で3月に行われた本会議。50年の歴史の重さを感じ、議会最終日は感慨深く感じました。そして新型コロナウイルス感染症の5類移行と同じくして新庁舎開庁となり、昭新村の新しい門出を祝っているようにも感じました。

また昭和の秋まつりも4年ぶりの開催となり、多数の来賓者やイーグルポイント市長らをはじめ、村内外から約1万5,000人ももの来場者がありました。これは実行委員会、各種団体による陰の力のおかげと感謝を申し上げます。

昭新村統合小中学校建設につきましては、村民の意見をしっかりと受け止め、子ども達が安全で、明るく楽しく過ごせる学び舎建設を目指し、しっかりと取り組んでまいります。

農業・商工業においても、資材・仕入価格・人件費等高騰により昨年は厳しい年となりました。私たち議員一同、役割と責任の重さを常に心にとめ、村民の声を真摯に受け、前進してまいります。

今年一年が村民皆さまのためまい前進而幸多い年となることを願い、念頭の挨拶にかえさせていただきます。



## 編集室から

天候、経済、負の影響が多かった令和5年が終わり、「6年」今年こそはという気持ちで新春を迎えた人も多いと思います。

昨年は皆さまから議会にもたくさんのお意見をいただきありがとうございました。本年も課題解決に向け多くの皆さまの考え・意見を聞き、議会で議論を重ねていきたいと思っています。

2024年が明るく心穏やかな年となるように心より願っています。

永井 一行 記

### 議会広報編集特別委員会

委員長 倉沢つかさ

副委員長 林 栄一

### 委員

藤井 貞充 沢浦 典子

佐藤 好美 永井 一行

片柳 悦夫



議会だより  
既刊号